

特別の教科道徳の学習について（こんなことを学習します）

学習概要

人間は、本来人間としてよりよく生きたいという願いを持っています。この願いの実現を目指して生きようとする態度や実践力を身に付けるための基盤となる道徳性を養う教育活動です。

重点目標・努力点

- ・道徳的实践力を高める授業の実践と充実を図ります。
 - 自分の考えをしっかりと持ち、正しく行動できるようにします。
 - 思いやりの気持ちをもって、行動できるようにします。
 - きまりを守り、人に迷惑をかけないようにします。
 - 生命の尊さを知り、生命を大切にできるようにします。



学習の仕方・工夫

- ・家庭や地域との連携を図る学習を行います。
（授業参観日の授業公開、他活動関連でのゲストティーチャー、「こころの日」の取組 等）
- ・心に響き、心が動くような授業の実践に心がけます。
（感動的な読み物教材、視聴覚機器の利用 等）
- ・共の和タイムや教育活動全体の中で体験活動を生かした学習を行います。

評価のポイント

道徳の時間は、教師が児童の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を評価し勇気づける働きをもつものです。
教科書を活用しながら、自分のこれまでの体験から考えたり、友だちの考えを知って自分の考えをもったり、これからどんな生き方をしていくのか考えたりしていきます。その中での変化や成長をとらえ、総合的な学習の時間と同じように、文章での評価をします。

こんなことをがんばろう

低学年	・自分のことは、自分でできるようにしましょう。 ・友だちと仲よくし、親切にしましょう。 ・みんなが使うものを大切にし、約束やきまりを守りましょう。 ・動植物にやさしく接し、生命の大切さに気づきましょう。
中学年	・自分で考え、正しいと思うことは進んで行いましょう。 ・誰に対しても思いやりの気持ちを持ち、仲良く助け合いましょう。 ・進んできまりを守り、人に迷惑をかけないようにしましょう。 ・生命のあるものを大切にしましょう。
高学年	・強い意志で、正しい判断をして行動できるようにしましょう。 ・相手の気持ちや立場を考え、互いに尊重し合って生活しましょう。 ・きまりを守り、自他の権利を大切にしましょう。 ・生命の尊さを知り、自分や他の人々の生命を大切にしましょう。